

# Red Hat Enterprise Linux 7.8 への LifeKeeper for Linux v9.5.0 DataKeeper インストール手順

作成日：2020年5月12日

Red Hat Enterprise Linux 7.8（以下「RHEL7.8」という）や CentOS 7.8、Oracle Linux 7.8 上で LifeKeeper for Linux（以下「LK」という）をインストールする場合、v9.5.0 をご利用いただくことができます。ご利用の際には本資料の手順に従ってインストールを実施してください。なお DataKeeper を利用しない場合や Single Server Protection v9.5.0 をご利用の場合は本手順の実施は必要ありません。また、LK v9.5.0 の次リリースバージョンから本手順の実施は必要なくなります。

## 対象環境

LKバージョン : v9.5.0

オペレーティングシステム : Red Hat Enterprise Linux 7.8  
CentOS 7.8  
Oracle Linux 7.8

※DataKeeper を使用する場合のみ、この手順を実行してください。

## インストール手順

1. 本資料と同梱されている「lk-rhel7\_8-support」ファイルを、LK v9.5をインストールするサーバーの任意の場所に配置してください。本資料の手順では /root 以下に置かれているものとします。それ以外の場所の場合はパス名を適宜読み替えてください。
2. 通常のLKのインストール手順に従い、setupスクリプトを実行する時点まで準備してください。
3. LKをインストールするためにsetupスクリプトを実行する際、以下のように実行してください。

```
# setup --addinfo /root/lk-rhel7_8-support
```

4. 以後通常の手順の通りsetupスクリプトを完了させてください。

RHEL7.8にLK v9.5.0 をインストールする手順は以上です。